

展示室4 エッチングの現在

2021年10月12日(火)～11月7日(日)

イメージを複製する手段として登場した銅版画ですが、技法の発展により多彩な表現が可能となり、現代まで数多くの作家がそれぞれ独自の表現を生み出してきました。この展示では、銅板を腐蝕させて版を作る「エッチング」に焦点をあて、その表現の可能性を拡張させているジュリアン・シュナーベル、山口啓介、村上早の作品を紹介します。

No.	作者名	(生没年)	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	限定番号	備考
	ジュリアン・シュナーベル	(1951-)	『トッド、ケージ・ウィズアウト・パース』 (9点組)	1983	エッチング、アクアチント・紙		2/50	
1			I			74.4×59		
2			II			74.6×59		
3			III			75.0×59.5		
4			IV			74.7×59.3		
5			V			74.5×59		
6			VI			74.8×59.4		
7			VII			74.5×59.5		
8			VIII			74.6×59.4		
9			+			74.5×59		
10	山口啓介	(1962-)	王の墓	1989	エッチング・紙	98×133.3	A.P.	
11	村上 早	(1992-)	はなぢ	2012	リフトグランドエッチング、アクアチント・ 雁皮紙、紙	28×24	11/15	個人蔵
12			ワルツ	2014	リフトグランドエッチング、アクアチント、 ドライポイント・紙	32×25	5/15	個人蔵
13			息もできない	2015	リフトグランドエッチング、アクアチント・ 雁皮紙、紙	89×97	A.P.	個人蔵
14			まわる	2015	リフトグランドエッチング、アクアチント・ 雁皮紙、紙	123×155	A.P.	個人蔵
15			かくす	2016	リフトグランドエッチング、アクアチント、 スピットバイト、エッチング・雁皮紙、紙	118×150	A.P.	個人蔵
16			つつむ	2018	エッチング・雁皮紙、紙	17×13	2/15	個人蔵
17			ふたつ	2018	リフトグランドエッチング、アクアチント、 エッチング、スピットバイト・雁皮紙、紙	36×20	1/15	個人蔵
19			ふうせん 2	2018	リフトグランドエッチング、アクアチント、 スピットバイト・雁皮紙、紙	118×150	4/10	個人蔵
20			どく	2018	リフトグランドエッチング、アクアチント、 スピットバイト・雁皮紙、紙	118×150	3/10	個人蔵
18			怠惰 -ねむり-	2020	リフトグランドエッチング、アクアチント、 スピットバイト・雁皮紙、紙	130×130	1/10	個人蔵
21			原罪 -red bed-	2020	リフトグランドエッチング、アクアチント、 スピットバイト・雁皮紙、紙	130×130	1/15	個人蔵